

越谷市公告

民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成11年法律第117号）第8条第1項の規定に基づき、越谷市立小中学校施設空調設備設置事業を実施する民間事業者の選定を行い、優先交渉権者を決定したので、同法第11条第1項の規定により、民間事業者の選定における評価の結果を別紙のとおり公表する。

平成28年12月9日

越谷市長 高橋



越谷市立小中学校施設空調設備設置事業に係る優先交渉権者の決定について

平成 28 年 1 2 月 2 日
越谷市長 高 橋 努

越谷市立小中学校施設空調設備設置事業に係る P F I 事業者の選定について、越谷市 P F I 事業者選定審査会設置条例に基づき設置された審査会の答申を踏まえ、下記のとおり優先交渉権者を決定した。

記

1 優先交渉権者：ナカノヤグループ

代表企業	株式会社ナカノヤ
構成企業	東武建築企画株式会社
	株式会社太平エンジニアリング 北関東支店
	トバセ電気工事株式会社
	株式会社東海テック

2 採点結果表

① 審査項目に基づく定性的審査の結果

審査項目			ナカノヤグループ		
			配点	評価	評価点
■事業実施に関する項目			35		27
1	事業計画(実施体制、工程、資金計画等)の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施にあたっての基本方針 民間企業が実施することによる迅速性、効率性 事業実施体制及び代表企業、構成企業、協力企業等の役割分担 事業収支及び資金調達計画の妥当性 	10	B	6
2	リスクへの適切な対応及び事業継続性の確保	<ul style="list-style-type: none"> 本事業におけるリスクの想定及びその対応策、事業者間でのリスク分担のあり方 	5	B	3
3	地域の活性化への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 構成企業及び協力企業における市内業者への金額配分割合（契約金額ベース） 事業実施における市内業者の活用方策 その他地域又は地域経済に対する貢献への取組 	15	A	15
4	快適な学校環境及び環境負荷低減への配慮	<ul style="list-style-type: none"> 快適な学校環境（学校生活空間、景観等）の維持に向けた配慮 環境負荷低減のための設備整備及び維持管理における配慮 	5	B	3
■施設整備に関する項目			45		33
5	設計・施工計画、設計・施工体制の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 設計及び施工における基本方針 学校教育現場という特性に配慮した設計・施工上の対応策・工夫（空調設備の設置方法、空調設備配管等の施工方法、既存設備への配慮等） 耐震性確保のための配慮 施工時の安全性確保のための方策 設計・施工スケジュールの妥当性 設計・施工における事業者間の役割分担、実施体制 既済設計内容の効果的な活用方策 	15	B	9
6	空調設備の完成時期	<ul style="list-style-type: none"> 可能な限り早い段階での完成を実現する具体的な提案を評価し、最も完成時期の遅い対象校における完成予定時期に応じて評価点を配分する 平成29年8月末まで：配点×1.0 平成29年9月末まで：配点×0.0 	10	A	10
7	空調設備の性能（快適性、操作性、安全性等への配慮）	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備の性能・機能の特徴 学校教育現場という特性を踏まえた利便性・安全性確保の工夫 快適な室内環境を実現するための方策 教職員にとってリモコン等の操作を容易にする工夫 エネルギー方式の違い（電気・ガス）に関わらず、統一的な運用・利用を可能とするための、空調機器の選定及び設計・施工上の工夫 	15	B	9
8	フレキシビリティへの配慮	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備の汎用性・可変性に係る性能 故障発生や性能劣化に対する機器仕様上の配慮・工夫 	5	A	5
■維持管理に関する項目			20		12
9	維持管理計画・維持管理体制の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理業務における基本方針 維持管理スケジュールの妥当性 維持管理体制、市や各学校との連絡・対応窓口体制 故障等の緊急時の対応方針・対応策 	10	B	6
10	モニタリングの実施	<ul style="list-style-type: none"> 業務報告やモニタリングを有効かつ効果的に行うための方策 事業期間終了時の空調設備の性能確保のための配慮 エネルギー方式の違い（電気・ガス）に関わらず、統一的なモニタリングを実施するための、性能検証や報告上の工夫 	10	B	6
合計			100		72

② 総合評価点

基礎点	要求水準を達成しているか	100
内容点	上記1のとおり	72
価格点	ライフサイクルコストの総額から算出 (最も低い総額の応募者の価格点：100点)	100
合計		272

3 審査会委員

会 長 積 田 洋 委員
(東京電機大学 未来科学部教授)

副会長 樋 口 佳 樹 委員
(日本工業大学 工学部准教授)

委 員 高 橋 晶 子 委員
(新日本有限責任監査法人：公認会計士)